

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2005-179367 (P2005-179367A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026
 【出願番号】特願 2004-371968 (P2004-371968)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)
A 6 1 Q 5/00 (2006.01)
A 6 1 K 31/505 (2006.01)
A 6 1 K 31/575 (2006.01)
A 6 1 P 17/14 (2006.01)
C 0 7 J 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/06
 A 6 1 K 31/505
 A 6 1 K 31/575
 A 6 1 P 17/14
 C 0 7 J 9/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 8 日 (2006.3.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

毛髪の変失の防止を意図する化粧品又は皮膚科学的組成物を製造するための、少なくとも一つのエクディステロイド又は少なくとも一つのエクディステロイド同族体又は少なくとも一つのエクディステロイド誘導体の使用。

【請求項 2】

エクディステロイド、エクディステロイド同族体又はエクディステロイド誘導体を以下から選択することを特徴とする、請求項 1 に記載の使用：エクディステロン、エクディゾン、ムリストロン A、ボナスステロン A、B 及び C、イノコステロン、リムナンテオシド A 及びリムナンテオシド B、アジュガステロン B 及びアジュガステロン C、トゥルケステロン、ダクリハイナンスステロン、カラダステロン、ポデクディゾン、スタキステロン、又は 7, 9 (11) - ジエン - 6 - オンエクディステロイド。

【請求項 3】

組成物がさらに化粧品成分を含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 4】

組成物がさらに水、アルコール及び一又は複数の化粧品として受容可能な有機溶媒を含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 3 の 1 項に記載の使用。

【請求項 5】

組成物がさらに一又は複数の化粧品として受容可能な添加物を含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 4 の 1 項に記載の使用。

【請求項 6】

化粧品又は皮膚科学的組成物が自然の原因又は医薬品が関連する原因による毛髪の喪失の阻止を意図することを特徴とする、請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

少なくとも一つのエクディステロイド又はエクディステロイド誘導体を含む組成物の化粧品として有効な量を個々の頭皮の問題となる領域へ適用することを特徴とする、毛髪の喪失を阻止する化粧処置方法。